



「建国記念の日」奉祝式典&記念イベント

2月11日(木・祝)に高千穂神社で「建国記念の日」奉祝式典が行われ、干支(えと)の丑(うし)にちなんだ神楽が奉納されるなど疫病退散を祈願しました。例年だと「神話の高千穂建国まつり」が開催され、約700人の町民らが神様の衣装をまとって町内を歩くパレードが行われるなど、とても多くの人で賑わいます。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で建国まつりは中止となりましたが、その代替行事として奉祝式典や、過去の建国まつりを振り返る写真展などの記念イベントが行われました。

また、2月8日(月)～12日(金)までの5日間、「建国記念の日」週間として町内事業所等で古代衣装を着用するなど町内全体で「建国記念の日」らしさ、高千穂らしさの雰囲気づくりを行いました。

来年は、多くの人に参加できるいつもどおりの建国まつりが開催されることを願っています。



～九州中央自動車道の早期整備～

国土交通省にWEB要望しました

九州の東西軸として宮崎・熊本両県を結ぶ九州中央自動車道の早期整備に向けて、河野知事と国道218号(五ヶ瀬～延岡間)整備促進期成同盟会(会長・甲斐宗之町長)らは、2月5日(金)に国土交通省に対し、WEBによる要望を行いました。

九州中央自動車道は、地域の活性化をはじめ、九州全体の産業・観光振興のほか、大規模災害時には、人命救助や救援物資の輸送等を円滑かつ迅速に行うために必要不可欠な「命の道」であり、県北地域の発展に大きく寄与するものとして、期待が寄せられています。



令和2年度「食と農」壁新聞コンクール表彰式



みやざきの食と農を考える県民会議西臼杵地域支部では、管内小学生の「食と農」に対する関心を深めることを目的に、壁新聞コンクールを平成17年から毎年実施しています。今年度は33作品の応募があり、9作品が入選しました。

金賞には日之影小学校5・6年生10名の作品「乾しいたけのひみつ」が選ばれました。この新聞1枚で、乾しいたけの生産工程、栄養機能性、調理方法までのすべてが分かるほどよく調べまとめられており、班員全員で協力して作成したところが審査員に評価されました。

他の作品も、努力と工夫が凝らされた作品ばかりで、壁新聞コンクールを通じて、小学生たちが将来の西臼杵地域の食育・地産地消の推進を担っていくことが期待されます。

令和2年度「知事の白熱教室」を実施！

2月10日（水）、日之影中学校において「知事の白熱教室」が実施され、『未来を築く新しい「ゆたかさ」への挑戦』～中山間地の魅力を再認識する～をテーマに、河野知事と2年生25名が意見交換を行いました。



立志式の一部として開催され、生徒の皆さんによる職場体験発表や、日之影町の「ゆたかさ」、将来の生き方などについて意見交換が行われ、知事からは、「ふるさとに誇りを持ち、その素晴らしさを語れる人になって欲しい。」「これからの時代の変化にもしっかりと立ち向かえる人財に育てて欲しい。」などと熱く語られ、生徒たちも熱心に耳を傾けていました。

今回の「知事の白熱教室」を通して、日之影町の魅力や自身の将来を見つめ直すきっかけとなったようです。



※撮影時のみマスクを外しています



杉本商店が農林水産業動画「サステナアワード」大賞



SDGsの実現を目指すプロジェクトの一環として、農林水産業の持続可能な取組を3分間の動画作品にまとめ発信する「サステナアワード」（農林水産省などが主催）が本年度初めて開催され、全国から42作品の応募の中、杉本商店が見事大賞を受賞しました。

杉本商店の動画では、椎茸栽培が循環型林業に寄与することに加え、高齢化や担い手不足が深刻な山間地域において福祉施設と連携を図りながら雇用の場の創出にも貢献する内容となっており、様々な面で附加価値を見いだす作品として高く評価されたところです。

杉本社長は、「新型コロナの影響により直接的な商談等ができない中、今回の動画応募が国内外に椎茸加工品の生産過程を正しく理解してもらいいいきっかけになった。」と話され、西臼杵地域のさらなる活性化に繋がるものとあらためて感じられました。



サステナアワードホームページ
 (https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kanryo/seisaku/being_sustainable/sustainabilityaward2020.html)

五ヶ瀬町で「しいたけ教室～椎茸駒打ち体験～」が開催



2月2日（火）に五ヶ瀬町で「しいたけ教室～椎茸駒打ち体験～」が開催され、町内の小学6年生21名が参加しました。

生産者から椎茸生産に関すること、役場より町内の豊かな森林を守るために行っている活動支援等について、西臼杵支庁より椎茸栽培に関する説明を行った後、駒打ちの体験が行われました。

今回駒打ちした椎茸は、体験した小学生が中学2年生になる時期に収穫し、販売まで実践することになっており、生産から販売までの一連の流れを体験することで、地元五ヶ瀬町の特産品について学ぶ機会とする継続的な活動となっています。

児童からは、今回の体験活動に対して「宮崎の乾しいたけの生産量が全国2位であることを知らなかった。早く美味しい椎茸が出てくるのが楽しみ。」といった声がありました。

日之影町で ドローン 物流実証実験



2月9日（火）に日之影町でドローンを活用した物流実証実験が行われました。宮崎県の中山間地域は、県土の約9割を占め、豊かな自然や伝統文化など貴重な地域資源を有する、県民の約4割が暮らす生活の場となっています。今回の実証実験は、そのような地域での新しい物流手段としてドローンが活用できないか検討するために行われました。

実証実験では同町七折地区の八戸黎明館を離陸し、五ヶ瀬川を挟んだ同町分城地区の星山公民館までの約700mの距離を飛行し、重さ2kgと5kgの食料品や日用品を運びました。

ドローンは、高齢者の買い物手段としてだけでなく、ポストコロナ社会における、感染リスクの低い新たな物流としての可能性や、災害時の孤立集落への物資運搬にも活用が期待されます。



約700mの飛行



「楽しみ会 来んねっと」に来んね？

西臼杵地域障がい者自立支援協議会就労支援部会では、平成29年度から障がいのある方を対象に「障がい者のつどい」を年1～2回開催し、参加者の交流やレクリエーション活動を行ってきました。

昨年、「障がい者のつどい」を親しみやすい名前にしようと、参加者から名前を募集し、「楽しみ会 来んねっと」に決定しました。楽しい会に来んね？とネットワーク(繋がり)を掛けており、楽しみながら新たな繋がりをつくることのできる場所になることが期待されています。



「楽しみ会 来んねっと」活動についての問い合わせ先
西臼杵支庁福祉課 電話：0982-72-2193

